

原爆投下時空襲警報のサイレンが鳴らなかったことの真相究明委員会

代表発起人 畝 洋幸 (社会変革事業体 ネクストモーション代表)

1945年8月6日ヒロシマに原爆が投下されましたがその際なぜ空襲警報のサイレンが鳴りませんでした。

この事実はNHKの原爆に関する特別番組でも明らかですし、ヒロシマの地元の女性・渡部久仁子さんの製作されたドキュメンタリー映画「はだしのゲンが見たヒロシマ」の中での被爆者でもある「はだしのゲン」原作者・中沢啓治さんの発言からも確実な事実として捉えることができます。

これについてはナガサキの原爆投下時にも空襲警報のサイレンが鳴っておらず、単なる偶然とは言えない事象となっており、何らかの故意が働いたと思われます。

原爆が炸裂した時、たまたま物陰にいて直接放射線を浴びなかった人の殆どはその後比較的元気に生存したことを考えると、もし広島、長崎でこれまで通り空襲警報が鳴っておればとっさに皆が物陰に隠れることができ、被害が極めて少なく済んだことが予想されます。

以上の理由でこの際なぜ両地の原爆投下に際し、空襲警報のサイレンが鳴らなかったのか、その原因、理由を訴求する本格的な委員会を立ち上げて真相を究明したいと思います。

お問い合わせ

URL: www.nextmotion.org トップページのお問い合わせからメールでお問い合わせ下さい。